

食育だより

令和4年度4月号
さいたま市立新和小学校

4月分のみ児童数配付

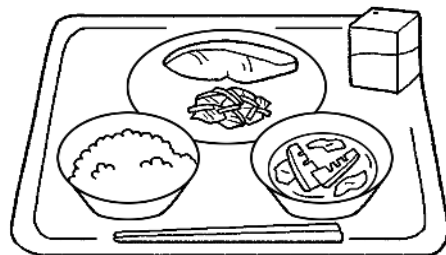
ご入学、ご進級おめでとうございます。新年度が始まりました。食を通じて、子どもたちが元気に毎日過ごしていけるように努めていきますので、よろしくお願いいたします。

学校における食育とは



食育は生きる上での基本で知育、徳育、体育の基礎となるべきものとされています。学校においては、学校給食や食に関する指導を通して子どもたちが望ましい食習慣や食に関する知識を身に付けられるようにすすめていきます。

学校給食は生きた教材です



- ◆国際理解のための世界の料理
- ◆日本各地の郷土料理
- ◆かむメニュー

家庭で不足しがちな栄養素がとれるように考慮しながら、旬の食材や地元産の食材を積極的に取り入れた特色ある献立を実施します。

給食費・給食回数

- ・給食費は1か月 4,380円（一食あたり260円）です。
 - ・給食回数は、年間186回です。（1年生は181回です。）
- ※給食費の減額は、連続5日を越えて欠食の場合に、届出の翌々日からとなります。連続5日以内の欠食は減額しませんので、予めご了承ください。

給食室紹介♪

- *栄養士 石田 真依（いしだ まい）
- *調理は委託会社 東京天竜（あま）が担当します。

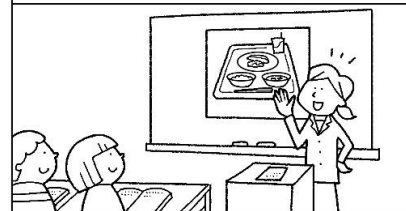
給食は十分な衛生管理のもとで子どもたちの成長や健康のために栄養バランスを考えて作っています。安心・安全でおいしい給食を提供するために調理員一同努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



学校における食に関する指導の内容

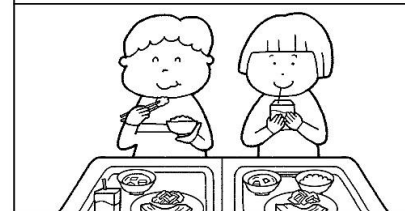
食に関する指導は、学校の教育活動全体を通して行います。

教科等の時間



各教科や外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動は、食に関する指導と関連づけることができます。関連づけることで、食育の充実や教科等のよりよい目標達成につながります。

給食の時間



学校給食は、児童生徒の健康の維持・増進、体位の向上を図り、望ましい食習慣と食に関する実践力を身につけるために重要な教材です。また、地域の文化や伝統に対する理解と関心を深めます。

個別的な相談指導

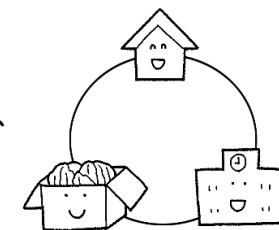


偏食、肥満・やせ傾向にある児童生徒や、食物アレルギーを有する児童生徒など、全体での指導では解決できない健康に関する個別性の高い課題について改善を促すために相談指導を行っています。

家庭・地域・学校の連携で食育をより豊かなものに！

子どもたちの食育は、生涯にわたって健やかに生きるための基礎を培うことを目的としています。学校給食は、食に関する知識や実践力を身に付けるために、大切な教材となるよう心掛けています。

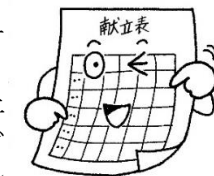
子どもたちが、食に対する知識を深めて、日常生活で実践していくためには、家庭と学校が連携して食育に取り組むことが重要になってきます。また、地域のよさを理解してもらうために、地場産物を給食に取り入れたり、農家や地域の方々との交流を深めたりしていきます。食育だよりを通して、食に関する知識や地域の食材、食文化などをお伝えしていきます。食育の中心は家庭ですが、学校全体でも積極的に取り組みますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



献立表確認のお願い

給食で初めて食べる食材はありますか？

食物アレルギーは、乳児がもっとも多く、年齢が上がるにつれて減少していきます。しかし、中には学童期以降にアレルギー症状があらわれる場合もあります。給食で初めて食べる食材がある場合は、体調のよい時に、まずは、家庭で食べることをおすすめします。



給食当番は身支度も大切な仕事です

★つめは短く
切りましょう

★石けんで
しっかり手洗いを
しましょう

★マスクをきちんと
つけましょう



★ぼうしは髪の毛が
出ないように
かぶりましょう

お願い

お子さんが白衣などを
持ち帰った際に
洗濯をお願いします。